

第104回全国高校野球選手権青森大会



【八学光星 十太】5回八学光星無死、織笠陽多が左越えにソロ本塁打を放ち、5-0で勝ち進む

分析力と選球眼で15安打

12年ぶりの八学勢対決となった決勝で、八学光星が工大一へるような試合は一つもなく、主砲野呂洋翔は「前のめりになっ

った。打ち勝ったと実感できた決勝で、八学光星が工大一へるような試合は一つもなく、主砲野呂洋翔は「前のめりになっ

ハイライト

チームが定めた狙い球は「直球のだった。野呂は「直球は捨てて

た。野呂は「直球は捨ててた。野呂は「直球は捨ててた。野呂は「直球は捨てて



2回八学光星1死三塁、深野友歩が左越えの適時二塁打を放ち、2-0とする

織笠（七百）大暴れ

八学光星打線では、今大会好調の中軸・織笠陽多（七百）が

ヒーロー

て打った。狙い通りだった」と納得の表情を浮かべた。

ソロ含む2安打2打点

てリラックスしなげだと感じた」と会心の「や」と打席に立った。一打をかみ締めた。春に勝負所で一本が

進決勝までの試合映像を見て、自分の表情の硬さに驚いた。決勝では「もつと力を抜い

味方応援席のプラスパンドの音楽も心地よかかった。一回はスライ

「スタンドを回りながらの見極めがまた甘い。出来は80点だ」と、甲子園へ反省も忘れなかつた。応援されているん

た。応援されているん

た。応援されているん